

平成 28 年度 三沢市商工会青年部部長所信

平成 28 年度三沢市商工会青年部
部長 木村 博幸

三沢市商工会青年部は1968年の設立以来48年にわたり、諸先輩方が作ってこられた伝統を継承しながらこれまで歩んでまいりました。我々もまた、諸先輩方の弛まぬ努力と功績に敬意を表し、高い志を受け継いで次世代へと繋げていかなければなりません。

昨今、行政やメディアでも「地方創生」を取り上げ、日本の各地域が取り組みを進めているところですが、そのようななかでも創意工夫をした地域が今後生き残ると言われています。私はここ三沢に生まれた者として、この地域を地方創生の先進事例にしたいと思っています。そのためには組織や団体の壁を超え、それぞれの分野・知識を集結させた地域ぐるみの連携が必要だと考えます。そして、地域が生き残るためにはまず三沢が持つ魅力を価値として実現・情報発信をしていくことが重要です。

昨年度、三沢市が市民を対象として実施したモニターアンケート調査の結果に、三沢市のいちばんの魅力は、「多様性を広く受け入れる受容力のある風土」という結果が出ています。私はまずこの青年部のメンバーが意見の違いや立場の違いを受け入れ、事業を推進していくことが地域の先兵たれという青年部の使命にとっても地域の活性化にとっても重要だと考えています。

そこで具体的な取り組みとして、「地域密着委員会」では、多様性を活かした地域の魅力づくりに取り組みます。また、「部員拡大組織力向上委員会」では、地域の他団体から学ぶ事業や、活動に消極的な青年部員に直接会って声をいただき、その声を青年部の運営に活かす事業を行います。さらに、2年後に青年部設立50周年という節目を迎えるにあたり「50周年準備委員会」を新たに発足させ企画室を設けます。そこでは歴代の諸先輩方よりこれまでの歩みや経験などをご教示いただく機会を設け、今日まで青年部が地域に提供してきた価値について明確にします。

そして、「総務委員会」では全体の取り組みの情報発信としてホームページを通じて活動を広く紹介していきます。また、青年部の一大事業である「みさわ七夕まつり」では三沢市民はもちろん、市内に住む外国人の方々や県外から転勤で来られた方々が、この街に来て良かったと思えるようなイベントにしていきたいと考えています。

まさに三沢市民が誇りを持つ「多様な文化を広く受け入れる受容性」をすべての委員会・事業において体現する一年にします。

今年度のスローガンを「共に学び、共に成長し、共に挑戦する」と掲げ、私がこれまで多様なお客様を受け入れる飲食店のリーダーとして培ってきたおもてなしの心を持って青年部の一人一人と向き合い、辛い時も笑顔で部員たちと乗り越え、美味しいお酒を飲みたいと願っています。

我々が発する言葉や意見がのちに創意工夫となり、行動となり、三沢の推進力となると信じています。地域の皆様から信頼され必要とされる志高き青年部組織を創造していけるよう一所懸命邁進していく所存です。何卒今年度もご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。私からの所信とさせていただきます。